

サステナビリティマネジメント

サステナビリティ推進担当役員メッセージ

私たちは、人と社会と地球環境に貢献することを使命とし、事業活動を通じて、「人」を尊重し、ステークホルダーとともに持続可能な「社会」を築き、美しい「地球環境」を未来へ継承していくことを目指しています。

当社グループの主力製品である蓄電池は、次世代自動車や再生可能エネルギー発電、エネルギー貯蔵システムなどのキーデバイスであるため、当社は技術の革新を通じて脱炭素社会に大きく貢献していくことができます。事業活動に伴う環境負荷低減や製造プロセスにおける安全衛生、サプライチェーン上の人権リスクなどに対処することに加え、イノベーションを通じた社会価値を提供すること、つまり企業理念である「革新と成長」を実践し、財務と非財務の一体的な連携を進めていくことが、当社グループのサステナビリティ経営の根幹です。

短期的な利益追求だけでなく、長期的な視点に立った持続可能な経営を推進して、グループ全体で事業基盤の強化と企業価値の向上を追求していきます。



(株)ジーエス・ユアサ コーポレーション
取締役 最高財務責任者(CFO)
(株)GSユアサ 取締役
松島 弘明

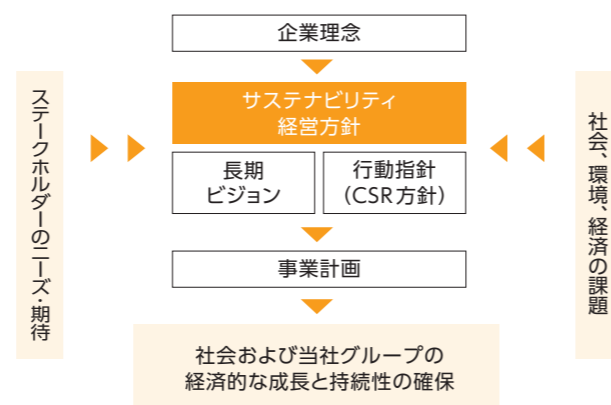
サステナビリティ推進プロセス

サステナビリティ経営方針

GS YUASAは、電池で培った先進のエネルギー技術で世界のお客様へ快適さと安心をお届けし、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指します。

1. サステナビリティ課題の解決に貢献し、社会とともに持続的に成長します。
2. 公正で健全な経営を遂行し、持続的な成長を支える強固な事業基盤を保持します。
3. 多様なステークホルダーと対話し理解を得ながら、信頼関係を構築します。

サステナビリティ推進プロセスの概要

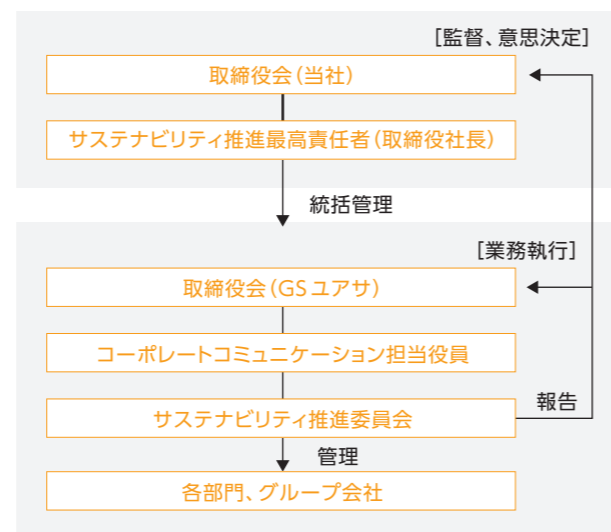


サステナビリティ推進体制

当社グループでは、取締役社長が「サステナビリティ推進最高責任者」としてグループ全体のサステナビリティへの取り組みを統括し、当社グループにおける経営上の重要な意思決定を行う取締役会を中心として、グループにおけるサステナビリティ経営の適切性を統括管理しています。

また、グループの業務執行における意思決定機関の中心的存在である中核事業子会社のGSユアサにサステナビリティ課題全般に関する協議、立案、推進を行うサステナビリティ推進委員会を設置して、グループ全体におけるサステナビリティ経営への取り組みを推進しています。

▶ サステナビリティ経営の推進
<https://www.gs-yuasa.com/jp/csr/structure.php>



サステナビリティ推進委員会の主な活動

サステナビリティ推進委員会は、重要なサステナビリティ課題の解決に向けた中長期的な取り組みを推進する役割を有する役員（コーポレートコミュニケーション担当役員）を委員長とし、主要な事業部門やグループ会社の責任者などによるメンバーで構成されています。本委員会では、各部門やグループ会社が取り組むべきサステナビリティ課題に関するリスクおよび機会への対応状況などを管理しています。

主な活動内容

- 〈投資家の視点 (ESG)〉
 - 投資家からのESG課題に関するニーズ・期待への対応
 - ESG外部評価の向上
 - ESG対応状況における透明性の確保 (統合報告書、有価証券報告書、コーポレートガバナンス報告書など)
- 〈国際社会の視点 (サステナビリティ)〉
 - 国際的な枠組みや基準などを考慮したサステナビリティ課題への対応
 - 事業活動を通じたSDGs貢献活動の推進
 - グローバルなサステナビリティ情報開示ニーズへの対応
- 〈企業の視点 (CSR)〉
 - 重要なCSR課題への対応
 - サプライチェーンCSRリスク管理の推進
 - ステークホルダーからのCSR課題に関するニーズ・期待への対応
 - CSR対応状況における透明性の確保

2023年度の主な議論テーマ

- 重要なCSR課題への対応に関する前年度の達成状況の評価と今年度以降の計画の見直し
- 重要なCSR課題に対応する計画の国内外グループ会社への展開
- 新たなサステナビリティ情報開示基準への対応
- ESG/CSRに関する外部評価スコアの改善
- サプライチェーンCSRリスクの管理状況の評価
- 外国人労働者雇用リスク管理の推進
- 気候変動や生物多様性に関する取り組み
- サステナビリティ推進状況に関する取締役会との協議結果

TOPICS / サステナビリティの社内浸透に向けた取り組み

VISION BOOK、CSRマニュアルの配布

当社グループでは、全社的なサステナビリティへの取り組みを推進するために、当社の理念体系を明確化した文書 (VISION BOOK) を全従業員に配布しています。

また、サステナビリティ経営に関する行動指針であるCSR方針を解説したマニュアル (CSRマニュアル) を全従業員に配布しています。海外グループ会社にはローカル社員が理解できる現地語 (6言語*) に翻訳したCSRマニュアルを配布しています。国内外の全従業員がCSR方針に関連するサステナビリティ課題を認識することで、事業活動を通じたサステナビリティへの取り組みを推進しています。

* 英語、中国語 (簡体字)、中国語 (繁体字)、インドネシア語、タイ語、ベトナム語



階層別研修へのサステナビリティ課題の導入

当社グループでは、サステナビリティへの取り組みを社内に浸透させるため、階層別研修にCSR方針に基づくサステナビリティ課題を取り入れています。

サステナビリティ課題に関する講義を取り入れた階層別研修一覧

- 新任部長/課長/係長・リーダー研修
- キャリアアップ研修 (入社6年目)
- スキルアップ研修 (入社3年目)
- パワーアップ研修 (高卒4年目)
- 新入社員研修
- マネジメント研修 (課長5年目)
- 昇格試験 など

マテリアリティ

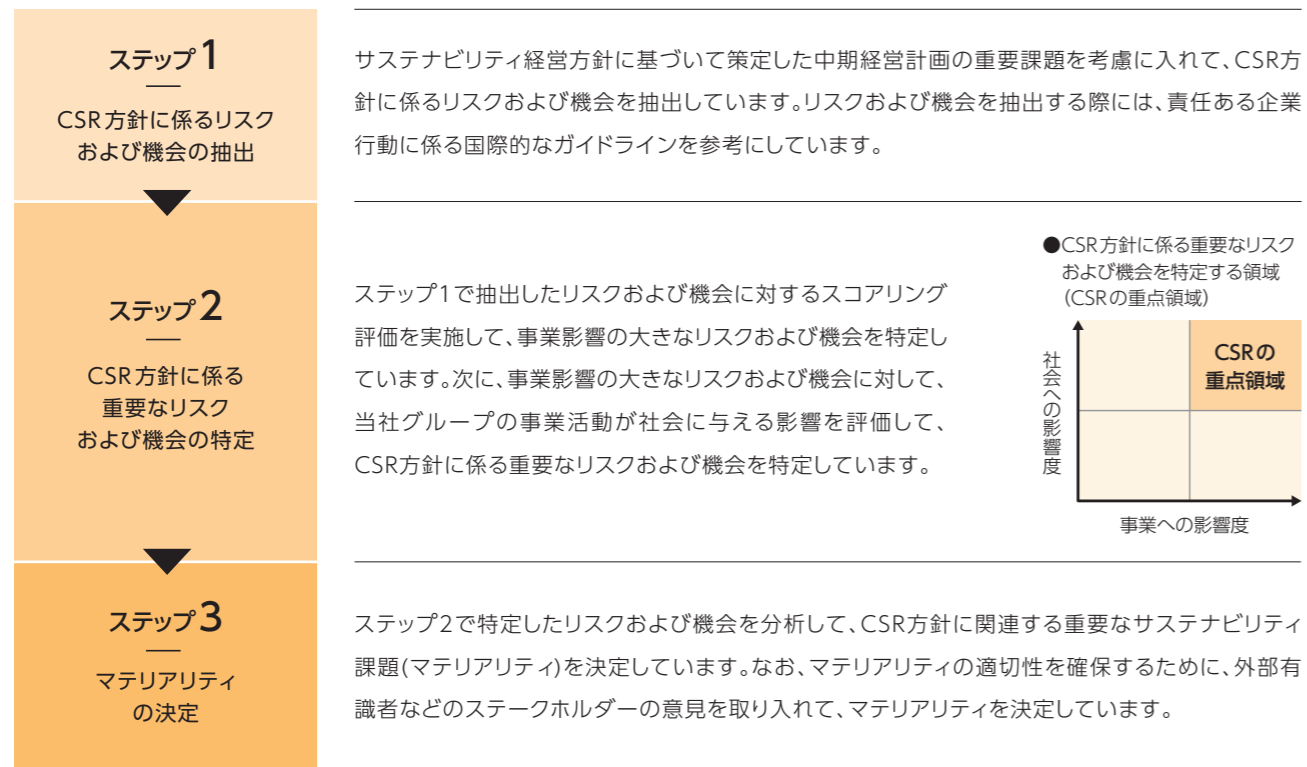
マテリアリティへの取り組み

当社グループは、サステナビリティ経営方針を達成するための行動指針（CSR方針）に係るリスク・機会を特定し、事業および社会への影響を評価してCSR方針に関連する重要なサステナビリティ課題（マテリアリティ）を明確にしています。また、事業基盤の強化や企業価値の向上などの観点から、マテリアリティに対応する事業計画（マテリアリティ対応計画）を策定し、計画の進捗状況を図る経営指標および目標を設定しています。なお、マテリアリティおよびマテリアリティ対応計画の内容については、当社グループのサステナビリティを推進する会議体（サステナビリティ推進委員会）が、ステークホルダーのニーズ・期待やサステナビリティ課題などを考慮して、定期的に見直し決定しています。また、CSR方針に係る重要なリスクについては、当社グループのリスク管理システムを活用して、適切なリスク対応を実施しています。

当社グループは、マテリアリティを長期ビジョンや中期経営計画に組み込んだビジネスプロセスを運用することにより、財務・非財務の両面で経営の質を向上させ、事業と社会の持続可能な成長を目指しています。

▶ マテリアリティの進捗 P.38-39

マテリアリティ特定プロセス



マテリアリティの運用について

策定したマテリアリティについては、測定可能な目標管理や管理基準に基づく運用管理などを実施して、継続的な改善や効果的な維持管理を図っています。なお、計画内容は、サステナビリティ課題やステークホルダーのニーズ・期待の変化に応じて、定期的に見直ししています。

グローバルな社会課題の解決に向けて

サステナビリティ課題には、人々が健康で自由に暮らせる世界の実現に向けた課題、自然環境に配慮した経済、社会、技術の発展や、争いのない平和な社会の実現に向けた課題、自然と共存した豊かな地球環境の実現に向けた課題などがあると認識しています。このような人や社会や地球環境に関する課題は、2030年までに達成を目指す持続可能な開発のためのグローバル目標であるSDGsと密接に関連していると考えています。

当社グループはマテリアリティに取り組むことで、グローバルな社会課題の解決への貢献を目指しています。



▶ マテリアリティへの対応を通じたSDGsへの貢献 https://www.gs-yuasa.com/jp/csr/pdf/SDGs_2024.pdf

TOPICS 「GSユアサのSDGsへの取り組み」ページを2024年7月に新規公開

GSユアサのSDGs達成に向けた取り組みをSDGsのターゲットごとに掲載しています。ぜひご参照ください。

▶ <https://www.gs-yuasa.com/jp/company/sdgs.php>

